

1. 科目名 (単位数)	教職実践演習 (中学・高校) (2 単位)	3. 科目番号	EDTS4393
2. 授業担当教員	垣崎 授二		
4. 授業形態	講義、演習、ディスカッション、模擬授業など	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	教職に関する単位を取得してから履修することが望ましい。 該当する教員免許状の希望者を受講対象者として、履修カルテを使用した授業を実施することから、履修できる学生は、中学校教諭、高等学校教諭の資格課程登録者のみとする。		
7. 講義概要	<p>大学でこれまで学んできた理論や学習知と教育実習等で獲得してきた実践知との関連や統合を図る。特に、教育実習成果・課題を踏まえて、生徒の実態に即した授業設計の在り方、教材の準備など、作業や演習をする。具体的には</p> <p>①これまでの講義や実習で積み重ねた「教職履修カルテ」と「教育実習日誌」、および資料等を基に、教員として必要な資質・能力に関する自己課題を明確にする。</p> <p>②教育実習の体験を基に、討論、事例検討、ロールプレイ、模擬授業等を行う。</p> <p>③教育に対する使命感、責任感、生徒・保護者とのコミュニケーションやよい授業を実施するための様々な準備について、実践的に学ぶ。</p> <p>更に、生徒への指導場面で、生徒理解や個に応じること、生徒の多様性に対応することなど実習で、実感した現場の実態と教員が配慮していること、身に付けたい能力などについて深める。</p> <p>また、学校という職場で組織の一員として働くことと、一人の教員として自己実現を図ることを仕事の仕方として掘り下げ、学校の教員として働くことの現実性を増し、実践力を高める。</p>		
8. 学習目標	<p>中学校、高等学校の教員として必要な基礎的資質・能力の形成に関して、以下の4項目をテーマおよび到達目標とする。</p> <p>① 職務に対して使命感や責任感を持ち、生徒に対する愛情が豊かであること。</p> <p>② 学校で働く組織人として、社会性や対人関係能力が適切であること。</p> <p>③ 生徒理解や学級経営等に関する基礎的な能力が身につけていること。</p> <p>④ 教科内容等の実践的な指導力が習得されていること。</p>		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・課題Ⅰ (レポート) 「教育実習の成果と課題について」 *1200字A4で1枚にまとめる ・課題Ⅱ (教師の話) 各回の担当を決め、各自が選定した資料 (新聞記事、写真、映像、絵本) を使って、生徒に向けた15分程度の話をします。 ・課題Ⅲ (レポート) 「学級内の気になる生徒の対応について」 *教科・科目を例示してその対応について1200字A4で1枚にまとめる <p>※レポートの提出期限はその都度指示する</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて資料を配布する。 ・配布された資料を整理、蓄積しておくファイルを準備すること。 <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自の「教職履修カルテ」と「教育実習日誌」 ・その他、必要に応じて紹介する。 		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職務に対する使命感や責任感を自覚することができたか。 ・教員として必要な社会性や対人関係能力を身につけることができたか。 ・生徒理解や学級経営等に関する基礎的な知識・能力を身につけることができたか。 ・教科内容等の実践的な指導力を習得したか。 <p>○評定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点 (積極的参加度・授業態度・発表・発言等) 30% ・課題 (中間レポート・学習指導案等) 30% ・期末評価 (レポート・試験等) 40% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>大学生活を締めくくることが自覚して取り組むこと。教育実習での貴重な体験をそれぞれに振り返り、その成果 (成功や失敗) を全体のものとするのがこの授業です。皆さんの教育実習での体験に磨きをかけ、体験を共有し、英知を出し合い、課題を克服することによって、一人ひとりの学生が教員になることの現実性・可能性が増し、教職そのものを改めて考える機会となることを期待します。</p>		
13. オフィスアワー	初回講義時に通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (本演習のねらいと内容・方法・グループ決め) 「教職履修カルテ」「教育実習日誌」を基に、各自の課題を明確にし、課題解決の見通しを立てる。	事前学習	教職履修カルテ「教育実習日誌」を通読して授業に臨む。その際、教育実習時のよかった点や反省点について考える。
		事後学習	教育実習の課題を整理する。授業後感想の提出。 *レポート課題Ⅰの作成をして指示された期限までに提出する。
第2回	グループワーク① (教育実習での課題解決の方法の討議) ・教師の話 (課題Ⅱ)・教科指導について	事前学習	作成したレポートの教科指導の課題点について考え、箇条書きで書き出す。
		事後学習	教育の現場における自らの諸課題をまとめる。授業

	・生徒指導について		後感想の提出。
第3回	事例研究① ・教師の話・いじめへの対応について	事前学習	事前に配布したいじめに関する資料を読んでおく。
		事後学習	いじめを防止する方法、組織や体制づくりについてまとめる。授業後感想の提出。
第4回	事例研究② ・教師の話・不登校生徒の対応について	事前学習	事前に配布した不登校に関する資料を読んでおく。
		事後学習	不登校の生徒への対応についてまとめる。授業後感想の提出。
第5回	事例研究③ ・教師の話・問題行動を繰り返す生徒の対応について	事前学習	事前に配布した問題行動に関する資料を読んでおく。
		事後学習	非行や暴力などの問題行動への対応についてまとめる。授業後感想の提出。
第6回	やる気を引き出す授業づくり ・教師の話・授業映像を見て討議 ・よい授業とは	事前学習	教育実習の経験からよい授業の要件を簡単にまとめ準備する。
		事後学習	・良い授業の条件についてまとめる。授業後感想の提出。
第7回	これから求められる授業の在り方 ・教師の話・学習指導要領が求める学力観について ・授業映像を見て討議。	事前学習	事前に配付した資料「アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善」を読んでおく。
		事後学習	新しい学力観に基づく授業の在り方についてまとめる。授業後感想の提出。
第8回	中学校現場の実際① ・教師の話・グループ討議	事前学習	事前に配布した資料を読み、自分の考えをまとめておく。
		事後学習	討議後の自分の考えをまとめる。授業後感想の提出。
第9回	中学校現場の実際② ・教師の話・グループ討議	事前学習	事前に配布した資料を読み、自分の考えをまとめておく。
		事後学習	授業後の成果と課題をまとめる。授業後感想の提出。
第10回	中学校現場の実際③ ・教師の話・グループ討議	事前学習	事前に配布した資料を読み、自分の考えをまとめておく。
		事後学習	授業後の成果と課題をまとめる。授業後感想の提出。
第11回	中学校現場の実際④ ・教師の話・グループ討議	事前学習	事前に配布した資料を読み、自分の考えをまとめておく。
		事後学習	討議後の自分の考えをまとめる。授業後感想の提出。
第12回	中学校現場の実際⑤ ・教師の話・グループ討議	事前学習	事前に配布した資料を読み、自分の考えをまとめておく。
		事後学習	討議後の自分の考えをまとめる。授業後感想の提出。
第13回	中学校現場の実際⑥ ・教師の話・グループ討議	事前学習	事前に配布した資料を読み、自分の考えをまとめておく。
		事後学習	討議後の自分の考えをまとめる。授業後感想の提出。
第14回	インクルーシブ教育 ・教師の話・通常学級における特別な支援を必要とする生徒への対応についてグループ討議	事前学習	事前に配布した通常学級における特別な支援を必要とする生徒に関する資料を読んでおく。
		事後学習	通常学級でのインクルーシブ教育のポイントをまとめる。*レポート課題Ⅲの作成をして指示された期限までに提出する。
第15回	まとめの発表 ・教師に求められる資質・能力 ・自己の教育指導観 ・自己のめざす教師像	事前学習	自己をめざす教師像について発表できるようにしておく。
		事後学習	他者の考えを聞き、よいと思ったところを整理しておく。授業後感想の提出。